

★下記の学会で発表しました！★

中重度要介護者、認知症要介護者に対する  
ルピナスデイサービスでの個別機能訓練は、  
アウトカム（効果）を検証しています。

第16回日本通所ケア研究大会

中重度者対象のリハビリ特化型デイサービスでの  
身体活動量についての取り組み  
～エクササイズ (Ex) を用いて～

発表：中島文音

第57回近畿理学療法学会

リハビリ特化型デイサービスにおける運動介入効果  
～筋力に着目して～

発表：藤原猛志

健常者における簡易活動量計装着部位の検証

～運動強度 (METs) を用いて～

発表：奥村伊世



詳しくは ⇒ <http://www.rupinasu-inc.co.jp/society> に掲載しております！

★最新介護医療情報★

iPSで「ミニ肝臓」、大量作製が可能に…横浜市大など（読売新聞 H29.12.7 配信）

人のiPS細胞(人工多能性幹細胞)から、肝臓の働きをする肝芽かんがを大量に製造する方法を開発したと、横浜市立大学などの研究チームが発表した。

肝機能に異常がある患者に、血管から「ミニ肝臓」として肝芽を移植する治療法につながる可能性があるという。米科学誌電子版に掲載された。同大の谷口英樹教授(臓器再生医学)らのチームは、肝芽の作製に成功していたが、iPS細胞以外に、血管の元になる細胞なども加える必要があった。

今回は、肝芽を構成する3種類の細胞をiPS細胞のみで作成し、立体的なミニ肝臓の形にすることに成功した。直径を従来の10分の1程度に小さくして、一度に2万個作製できるようになった。この肝芽を拒絶反応を起きにくくした肝不全のマウスに移植したところ、正常な肝機能が確認された。

小林英司・慶応大学特任教授(臓器再生医学)の話「iPS細胞単独で肝芽ができたことは大きな進歩だ。移植場所や定着させる方法などを含め人に近い大型動物で確かめる必要がある。」

地域ルピナス講習会のお知らせ

第27回忠岡地域リハビリ勉強会

⇒地域包括ケアの中の訪問看護の実際  
(症例を通して)

開催日：平成30年2月16日(金)

時間：午後6時30分～午後7時30分

場所：忠岡町文化会館 3階会議室

講師：ルピナス忠岡所長 濱崎蓉子

第17回城東地域リハビリ勉強会

⇒平成30年度ダブル改定を考える  
(訪問看護と訪問リハについて)

開催日：平成30年2月17日(土)

時間：午後6時00分～午後7時00分

場所：城東区民センター 中会議室

講師：ルピナス理学療法士 田中仁

第57回東大阪地域リハビリ勉強会

⇒栄養とリハビリテーションについて

開催日：平成30年2月22日(木)

時間：午後6時00分～午後7時00分

場所：東大阪市立東体育館 第三研修室

講師：ルピナス理学療法士 白石太郎

